



国際誌編集委員会

国際誌編集委員会委員長 水野勝広

国際誌編集委員会では公式英文誌である Progress in Rehabilitation Medicine (PRM) の編纂を主な業務として行っております。PRM は 2016 年に発刊以降、日本国内を中心に多くの投稿をいただいております。2021 年以降は年間 50 編以上の論文を公開しております。近年では海外からの投稿も増加しており、国際誌として認知されつつあることを感じます。PubMed, J-Stage という国際的医学文献データベースへの掲載、無料オープンアクセスの維持、SNS (X) での論文紹介、新規論文公開時に会員の皆様へのメール配信など広報活動にも注力し、掲載論文が世界中の研究者に迅速に届き、引用されやすい環境を目指して活動しております。PRM は Web of Science Core Collection の 1 つである Emerging Sources Citation Index (ESCI) への掲載が決定し、インパクトファクターが付与されます。

より高いインパクトファクターを得るためには、掲載論文がより多く引用されることが必要です。そのためには、掲載論文の質の担保が最重要課題だと考えております。そのため、Special Issue の企画、Invited Review の掲載などのほか、会員の皆様に質の高い研究を PRM に投稿していただくために、国際誌論文賞、Top cited article の表彰も行っております。また、雑誌・論文の質を維持するためには適切な Peer Review のプロセスの維持も大変重要です。現在、PRM では国内外の幅広い研究者の方々に Review をお願いしていますが、会員の先生方のご協力が不可欠であり、多くの Review をしていただいた会員を Reviewer Award として表彰させていただいております。

今後とも PRM のさらなる発展のためご協力をお願いいたします。

試験委員会

試験委員会委員長 木下 篤

試験委員会では毎年 7 月に行われるリハビリテーション科専門医（以下、専門医）試験と認定臨床医（以下、認定医）試験に関して、年間スケジュールを組んで以下の業務を行っています。

1) 筆記試験問題（専門医と認定医）と口頭試験の標準問題（専門医のみ）の作成

2) 試験の実施（専門医は 2 日、認定医は 1 日）
問題・解答用紙の配布と回収、試験時の監督管理、また受験者からの質問への対応なども行います。

3) 合否判定（認定委員会との合同審議）の提案
最終決定は理事会でなされます。2023 年度の合格率は専門医 90.6%、認定医 100% でした。

試験は例年東京国際フォーラムで実施していますが、コロナ禍の時期には感染対策のため地方会ごとに実施しました。このときは知り合いの特別委員（試験官）と受験者の組み合わせにならないような配慮、コスト（会場費、人件費）といった課題に対処しました。

2023 年度からは、「症例報告書の手引きと記載例」の改訂版作成にも取り組んできました。本号（8 月号）のお知らせに公開しております。具体的な例を通じて作成上のポイントなどがとてもわかりやすくなっています。ぜひご覧ください。

最後に当委員会からのお礼とお願いです。代議員には毎年多くの試験問題を作成していただき、また会員には試験場での特別委員として口頭試験官（本年は 119 人）を務めていただき感謝しております。今後も専門医試験がその内容、実施手順とも適切であるために、皆様の支援が必要です。お願いしたいのは専門医試験の受験申請時に提出する症例報告についてです。これは口頭試験の合否判定にも使用しており、今後記載内容をより重視する方向で考えています。指導医の先生方には丁寧にチェックしていただきますようお願いいたします。今後も皆様方のご理解、ご支援のもと業務遂行に努めてまいります。